

KOIZUMI

コイズミ照明器具

施工取扱説明書

型番 AR46966L1

(富士型 階段通路誘導灯兼用型)
(非常用照明器具)

(蓄電池)
(内蔵型)



保存用

(一般屋内月) 器具の取付けには電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明 工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危険や、
損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で
説明しています。(下記は図記号の一例です。)

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

		してはいけない内容です。
		実行しなければならない内容です。

 警告			
		厳守	施工は、施工説明にしがたい確実に行なう。 施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
			分解禁止 ランプはガラス製のため、取扱に注意する。 破損によるケガの原因となります。 万一、破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。
			禁止 ランプが破損した状態で使用しない。 落下、感電、火災の原因となります。

注意



厳守

直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、風の強い場所、腐食性ガスが発生する場所では使用しないでください。

落下・感電・火災の原因となります。

周囲温度は、5～35℃で使用してください。

指定外の周囲温度で使用すると、蓄電池の劣化、ちらつき、短寿命及び非常点灯しない原因となります。

階段通路誘導灯として使用される場合、常時連続点灯してください。

常時消灯して使用される場合は、事前に所轄消防署の了解を得てください。

自動火災報知設備との運動が必要なため、誘導用信号装置等を用いて消灯してください。

電源を通電せずに、蓄電池を接続したまま放置しないでください。蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。

器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する。けがのおそれがあります。



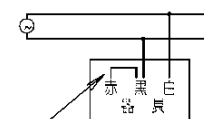
厳守

この器具の電源は、専用回路にしてください。

非常用照明器具としてご使用される場合は、次のように配線してください。

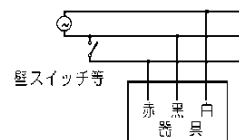
配線種類

・2線式
(連続点灯する場合)



※短絡線は器具端子台に接続されています。

・3線式
(壁スイッチ等で点滅操作する場合)



※壁スイッチは、赤線回路に設けてください。

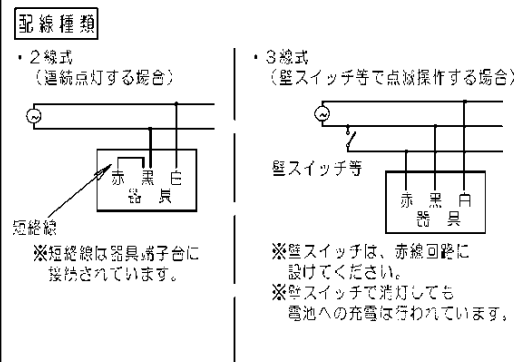
※壁スイッチで消灯しても電池への充電は行われています。

※階段通路誘導灯として使用する場合

誘導灯信号装置を用い、自動火災報知設備の動作と連動させてください。

詳細は信号装置の取扱説明書をご参照ください。

この器具の電源は、専用回路にしてください。
非常用照明器具としてご使用される場合は、次のように
配線してください。

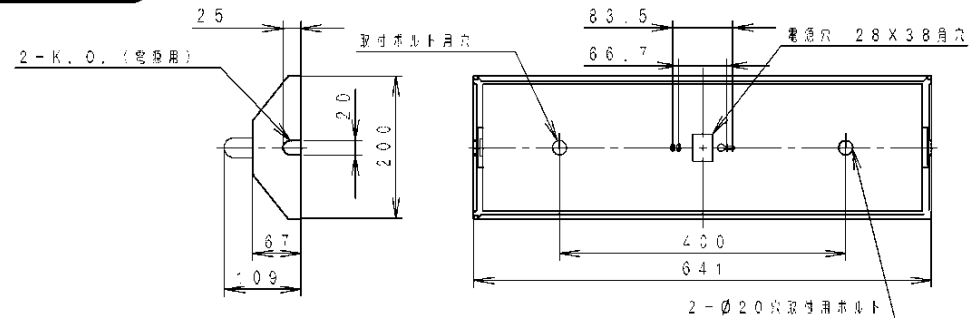


※階段通路誘導灯として使用する場合
誘導灯信号装置を用い、自動火災報知設備の動作と
連動させてください。
詳細は信号装置の取扱説明書をご参照ください。

施工上のご注意

・T/U付6Aリレーを使用する場合、照明器具の接続台数に制限があります。詳細については、該当T/U付6Aリレーのカタログ・商品仕様書をご参照ください。

器具背面図



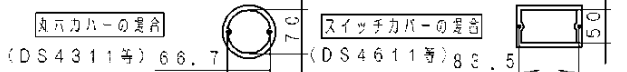
各部のなまえと取付方法



施工は、施工説明書にしがたい確実に行なう。
施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。

1 取付前の確認

- 器具質量(2.8kg)に十分に耐えるよう、
取付ボルト取付部の強度を確保する。
(取付ボルトは、W3/8又はM10を使用する。)
- ボックスに取付ける場合は、下記のカバーを別途手配する。
- 器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する。
けがのおそれがあります。



不備があると器具落下の原因となります。

2 ソケットの取付

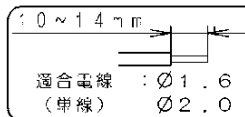
- ソケットをソケット台にくぐらせて確実に取付ける。

3 本体の取付

- 電源線、アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。
- 本体を取付ボルトに確実に取付ける。
(取付ボルト推奨トルク値1.5N・m)
- 器具内線を座金やナットで挟み込んでいないか確認する。
不備があると器具落下・感電の原因となります。

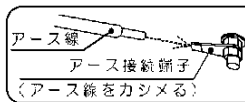
4 電源線の接続

- 電源線を確実に差し込む。
- 端子台の容量は、20Aです。
接続が不完全な場合や容量オーバー
の場合、火災の原因となります。



5 アース線の接続

- D種(第3種)接地工事が必要。
- アース線をアース接続端子に確実
にカシメる。
接続が不完全な場合、感電・火災の原因となります。

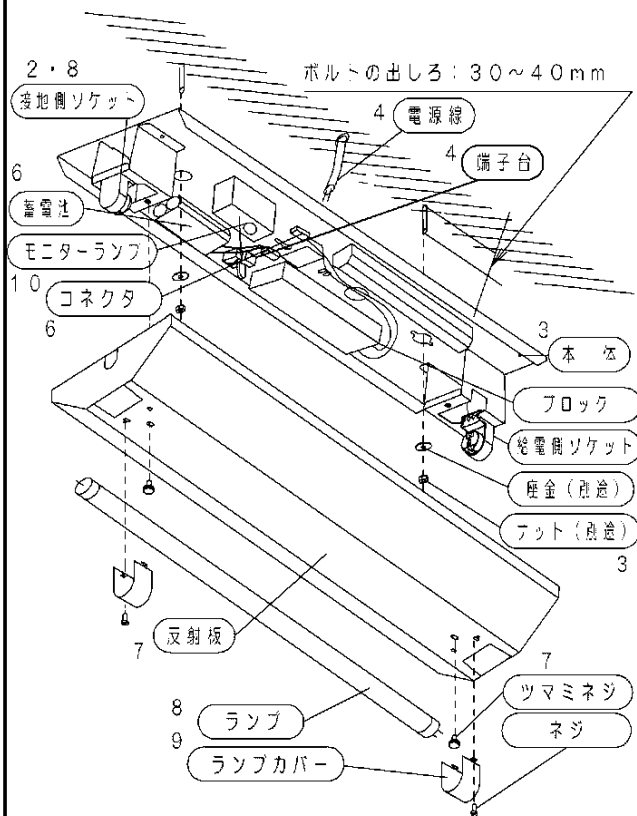


6 コネクタの接続

- 常用電源通電後、コネクタを接続する。
- 方向を合わせ確実に奥まで差し込む。
接続が不完全な場合、非常点灯不点の原因となります。

7 反射板の取付

- モニターランプと反射板の穴の位置を合わせる。
- 点検スイッチを穴に通す。
- ツマミネジを締め付けて反射板を確実に取付ける。
取付が不完全な場合、反射板落下の原因となります。



各部のなまえと取付方法（つづき）



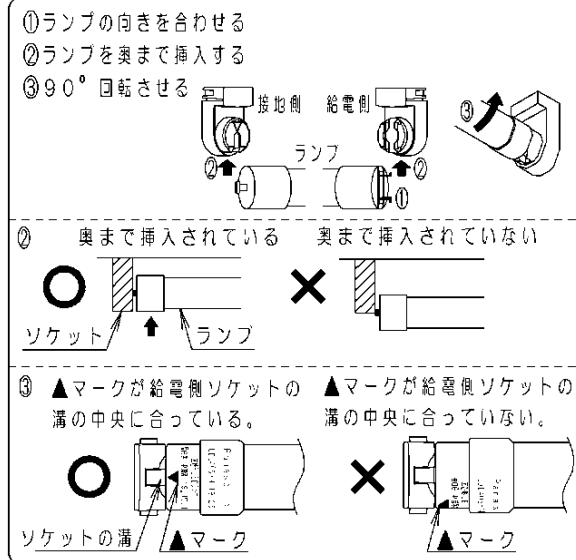
警告

施工は、施工説明書にしたがい確実にこなう。
施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。

8 ランプを確実に取付ける

・適合ランプは、5ページ「定格」をご参照ください。

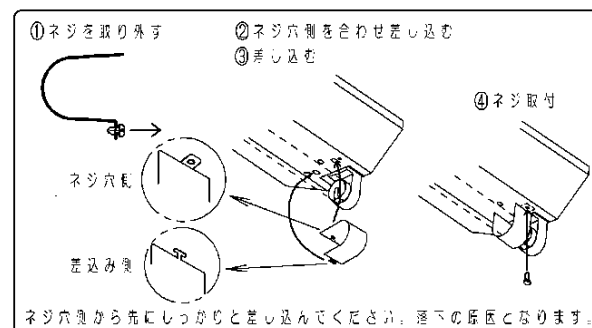
取付が不完全な場合、ランプ落下、照度低下の原因となります。



9 ランプカバーの取付（2ヶ所）

- ・ランプカバーのネジ穴側を反射板に差し込み引っ掛ける。
- ・内側へ指で押しながら反対側を角穴に差し込む。（最後まで確実にはめ込んでください）
- ・ドライバーで同梱のネジを締め付け固定する。

ネジ頭の破損防止の為、電動ドライバーは使用しないでください。
指定以外のランプ使用を防止するため必ずランプカバーを取付けてください。



10 点灯確認

- ・電源通電状態で、ランプ及びモニターランプが点灯するか確認する。
 - ・点検スイッチを引き、非常点灯を確認する。（充電モニターは消灯します）
- 正常に動作しない場合は「故障かな？と思ったときは」の項を参照してください。

取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

必ずお守りください



警告

！ 厳守	万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。	禁止	蓄電池をショートさせない。破裂、火傷、感電、火災の原因となります。
	ランプはガラス製のため、取扱に注意する。破損によるケガの原因となります。万一、破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。		蓄電池を加熱したり、火や水の中へ入れたりしない。破裂する危険があります。
	ランプが破損（ひび・割れ等）した状態で使用しない。破損した状態でも点灯しますが、使用し続けると防水性能が損なわれ、落下・感電・火災の原因となります。	分解禁止	器具、ランプを分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。蓄電池は分解しない。火傷、感電の原因となります。電池内の液は、皮膚や衣類をいためます。



注意

！ 厳守	長時間器具を使用しないときは、蓄電池は外してください。蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。	禁止	シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
---------	--	----	--

使用上のご注意

- ・調光機器などとの組合せはできません。
- ・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- ・可聴通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
- ・LED素子にバラツキがあるため、同じ品番のランプでも光色・明るさが異なる場合があります。予めご了承ください。
- ・接地極のない電源に接続する場合は、消灯後もランプが薄暗く発光する場合があります。予めご了承ください。
- ・電源電圧変動などの影響により瞬時的に明るくなったり暗くなったりする場合があります。予めご了承ください。
- ・ランプピンやソケットの導電板が酸化（腐食）し、不点灯に至る場合があります。湿気の多い場所、腐食性ガスの発生する場所では、使用しないでください。

お手入れ・部品交換

- ・器具の清掃について――・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
- ・ランプ交換について――・この器具の適合ランプは、直管LEDランプです。ランプ交換の際は、必ず下記に指定のパナソニック製ランプをご使用ください。

直管LEDランプ	蓄電池
LDL20S・N/11/12-K	FK849 (4.8V 3000mAh)

- ・ランプの向きを合わせて取付けてください。
- ・ランプをソケットの奥まで確実に挿入して取付けてください。
- ・ランプを確実に90°回転させて取付けてください。（3ページ「各部のなまえと取付方法」参照）



警告

- 感電のおそれあり
ランプ交換時は、必ず電源を切ってください。
- ランプ破損のおそれあり
ランプはガラス製です。取扱に注意してください。
- やけどのおそれあり
点灯中や消灯直後はランプやその周辺をさわらないこと。
- 非常時に正常点灯せず
必ず指定の適合ランプを使用すること。

お手入れ・部品交換（つづき）



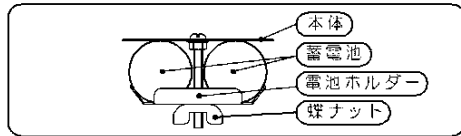
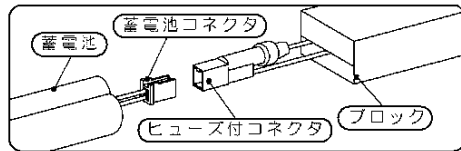
注意

蓄電池交換時は、器具に取付けられている蓄電池と同じパナソニック製の蓄電池にお取り換えください。故障の原因となります。

・蓄電池交換方法—————下図を参照のうえ確実にこなしてください。

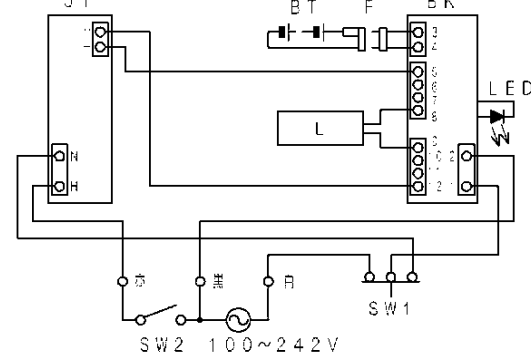
- 1 ランプカバー、ランプをはずす。
- 2 反射板をはずす。
- 3 蓄電池を交換する。
 - ・蓄電池コネクタを抜く。
 - ・蝶ナットと電池ホルダーをはずし、蓄電池を交換する。
- 4 蓄電池を取付ける。
 - ・はずした手順と逆の手順で確実に取付ける。
 - ・蓄電池コネクタは確実に差し込む。

接続が不完全な場合、非常点灯時に不点の原因となります。
- 5 反射板、ランプ、ランプカバーを取付ける。
 - ・はずした手順と逆の手順で確実に取付ける。
- 6 点灯確認
 - ・電源通電状態でランプおよび充電モニタが点灯するか確認する。
 - ・点検スイッチを引き非常点灯を確認する。



器具定格・接続図

接続図



部品の記号と名称

JT：電装ユニット
SW1：点検スイッチ
BK：ブロック
SW2：常通点灯スイッチ
BT：蓄電池
LED：充電モニター
L：ランプ
F：ヒューズ付コネクタ（10A）

定格

ランプ	非常時光束		AC 100V	AC 200V	AC 242V
LDL20S・N/11/12-K	620lm	入力電圧	0.16A	0.09A	0.08A
		入力電力	16W	16W	16W



この器具には、ニッケル水素蓄電池を使用しております。

ニッケル水素電池はリサイクル可能な資源です。ニッケル水素電池の交換、及びご使用済の電池の破棄に際しては、ニッケル水素電池を取り出しリサイクルにご協力ください。

- ◆定期点検 3ヶ月に1回は、破損・変形などの外観の点検をおすすめします。
6ヶ月に1回は、外観点検と機能点検を併せて行ってください。
（点検については、誘導灯は消防法令、非常用照明器具は建築基準法令に定められていますので必ず実施ください。）

◆設置年月日 年 月 日 ◆取付場所 ◆器具No.

点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者
	外観	機能			外観	機能			外観	機能	

故障かな？と思った時は

・表に従ってお調べいただき、なお異常がある場合は、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

現象	考えられる原因	処置
常時、LEDランプが点灯しない	LEDランプの寿命 消灯スイッチOFF	ランプを交換する スイッチをONする
非常点灯しない	蓄電池コネクタ外れ AC電源が通電状態となっていない	コネクタを接続する AC電源を通電状態とする
短時間しか点灯しない （30分未満）	蓄電池の充電不足 （保管時の自然放電や、施工時の放電など） 蓄電池の寿命	48時間以上充電する 蓄電池を交換する
充電モニタが点灯しない	蓄電池コネクタ外れ	コネクタを接続する

KOIZUMI

保存用

Z-199-015

お客様へ コイズミ照明器具をお買い上げいただきありがとうございます。取扱説明書と合わせて保管してください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取り扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へご依頼ください。
（ご贈答品やご転居などでお買い求めの販売店・工事店へご依頼にならない場合は型番をご確認の上、下記へご連絡ください。）

製品・お取り扱いなどのご相談は

お客様相談室

ナビダイヤル
（全国共通番号） 電話 0570-055123

受付時間：9:00～17:30
（土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く）

修理・アフターサービスのお問い合わせは

サービスセンター

ナビダイヤル
（全国共通番号） 電話 0570-015123

FAX 0570-025123

受付時間：9:00～17:30
（土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く）

●ご注意：所在地、電話番号、受付時間などが変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。（2018年4月現在）

愛情点検

★長年ご使用の照明器具の点検を！

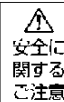


ご使用の際
このような
症状は
ありませんか

- スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。
- プラグ、コード、本体を動かすと点滅する。
- プラグ、コード、本体などが異常に熱い。
- こげくさい臭いがする。
- コードに傷や偏みが見られる。
- グロース、セードなどにひびが見られる。

ご使用
中 止

故障や事故防止のため、電源
スイッチを切り、必ず販売店
に点検、修理を依頼してくだ
さい。



安全に
関する
ご注意

- 照明器具及び関連機器には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。（室内温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯の場合）
- 周囲温度が高い場合や点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 3年に1回は、工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

コイズミ照明器具 保証書

※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

< 保証について >

1. 取扱説明書、本体添付ラベルなどの記載に基づいた使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償で修理させていただきます。
2. 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯安定器・LED器具の安定器、LED電源、LEDモジュールは3年間です。
3. ランプ（LED電球含む）・グロー点灯器・電池などの消耗品は、対象外となります。
4. 24時間無断使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
5. 保証期間内でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。
 - （1）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - （2）お買い上げ後の取り付け足場の移設、移送、落下などによる破損及び損傷
 - （3）火災、地震、水害、雷害、その他天災地災、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
 - （4）虫害、粉塵などに汚染された場合に生ずる故障及び損傷
 - （5）施工上の不備に起因する故障や不具合
 - （6）法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
 - （7）保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示がない場合
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

< アフターサービスについて >

1. 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。
2. 保証期間を過ぎていたときは、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって故障が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
3. 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についでのご相談は弊社サービスセンターへご連絡ください。
4. 弊社は照明器具の構造用性能部品を製造打ち切り後最少6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。消耗用性能部品には、同等機能を有する代替品を望みます。従いまして主に電球部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。

※保証書に明示した範囲、条件のもとにおいて無償修理を約束するものではありません。従ってこの保証書によって、お客様の法的上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、部品・修理に関するご依頼並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店またはコイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。

※This warranty is valid only in Japan.

保証期間（お引渡し日より）本体：1年間・安定器・LED電源/モジュール：3年間		取扱販売店・工事店名・住所・電話番号	
お買上げ日			
お客様	お名前		
	ご住所		
		電話（ ）	

コイズミ照明株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-7

取説NO. NNQZFG21002J-T1